

数々のヒット曲が披露された細川たかしのチャリティーショー

小平町文化交流センターサポーターズクラブ主催の細川たかしチャリティーショーが、8月2日(土)同センターで開かれ、昼夜2回の公演に総勢約600名の演歌ファンが駆けつけました。チャリティーショーは、昼の部が午後3時、夜の部は午後6時30分にそれぞれ開演しました。二部構成で行われた第一部は「若い民謡ふるさと紀行」と銘打ち、江差追分全国大会で優勝経験のある長江亜津子さんと日本郷土民謡民舞全国大会優勝の鴨田有起さんが、それぞれ「ソーラン節」や「津軽アイヤ節」など七曲を披露しました。

第二部の細川たかしショーでは、レコード大賞受賞曲として人気の高い「北酒場」を皮切りに、デビュー曲「心残り」など八曲を熱唱しました。細川たかしさんは、曲の合間に、出身地の後志管内真狩村の様子や自身の銅像にまつわる逸話を話題にしながらかつて観客の笑いを誘っていました。観客は生の演歌ショーを思い切り楽しんでいました。



社会教育 かわら版

「日野皓正クインテット 北海道ライブツアー'08 秋の陣」

日時：10月4日(土) 開場 18:00 開演 18:30

会場：小平町文化交流センター多目的ホール

前売券：全席自由 前売り券 3,500円 当日券 4,000円

- *チケットは300枚限定です。完売すると当日券の販売はございません。
- *未就学児童の入場はご遠慮ください。(託児あり、要予約)
- *託児を利用される方は公演日の1週間前までに予約ください。
- *車椅子でご来場される方は事前にご連絡ください。

チケットセンター：文化交流センター、鬼鹿支所、達布支所、小平セブンイレブン、鬼鹿ローソン、吉崎レコード、さしかわ楽器店、ビューネ、FMもえる、留萌管内教育委員会

お問合せ：TEL 56-9500 Fax 56-9555 E-mail obira@hokkai.or.jp HP <http://www.o-sc.net/>

チケット
好評発売中



小平郷土資料通信 No. 37

おびらでみつかった恐竜化石 —ハドロサウルス(カモノハシリュウ)—

文化交流センターに小平町で発見された恐竜化石のレプリカ(複製)が展示されていることを、みなさんにご存知でしょうか。このレプリカは北海道から発見された数少ない恐竜化石のひとつとして、恐竜の博物館として知られる滝川市美術自然史館の企画展示『化石展MESSAGE 太古からの警告』(7月12日~8月19日)に展示するために貸し出されていましたが、この度文化交流センターに帰ってきました。

この化石は、旭川市の浜本明さんが小平町達布、小平薬川沿い天狗橋近くの河原で昭和47年(1972)頃に発見しました。浜本さんは当初「木石(植物化石)」かと思っていたとのことですが、平成3年(1991)に横浜国立大学の長谷川善和教授(現在群馬県立自然史博物館館長)の鑑定によってハドロサウルス類の骨盤と大腿骨であることが確認され、当時は「道内初恐竜の化石確認」「恐竜、北海道にもいた」などの見出しで新聞紙面をにぎわしました。

ハドロサウルス類は、頭骨の形、特に口の部分がアヒルやカモノハシのような角質のくちばしを持つのでカモノハシリュウとも呼ばれます。ハドロサウルスは白亜紀後期(約1億5000万年前~6500万年前)の北アメリカとアジアで繁栄した草食恐竜でした。2足歩行をして10mを超える大型のものも多かったとされています。

この小平産ハドロサウルス類の化石は、発見者の浜本さんから小平町教育委員会が寄贈を受けましたが、詳細な研究のために長谷川館長に貸し出されているため、文化交流センターにはレプリカしかありません。ハドロサウルス類の化石と確認されてから17年、研究の進展は未だ報告されず、化石も返却されていません。骨盤と大腿骨のみであることから研究に困難がともなっているのでしょうか。当時の新聞記事(朝日新聞1991年11月12日朝刊社会面)によれば、小平産のハドロサウルス類は戦前樺太の炭坑で発見されたハドロサウルスの仲間「ニッポンリュウ」よりもずっと大きく、体長は少なくとも5~6m、大きくても10mを越えないだろうと書かれています。



小平町達布産ハドロサウルス類化石レプリカ
(小平町文化交流センター所蔵)
※上が骨盤で下が大腿骨

9月の古文書解読講座の予定
今月はお休みにします